

学校給食民間委託などで厳しい論戦



労働局の指導をふまえ再検討をとの訴えに

市教委は新年度実施予定校の説明会を延期

新潟労働局が城北中学校での学校給食における請負の実態について調査し、市教委区委員会を指導したことで上越市の学校給食民営化の動きは新たな展開をみせています。

市議会文教経済常任委員会は30日、

果、新潟労働局は、「現在締結している業務委託（請負）契約について実態を精査のうえ、貴職（市教委）と受託者の業務及び労働者への責任などを明確にし、恒常的に受託者の判断及び管理による独立した業務遂行を維持すること」を市教委に求めました。

この問題について市教委から報告を受け、今後の取り組みなどについて質疑を行いました。

市教委の報告によると、新潟労働局は10月16日、請負契約関係書類や支

出関係書類などに基づく調査や栄養士、チーフ調理員に対する聞き取り調査を行ったという事です。調査の結果、厚生常任委員会では、市が来年4月から通園バスの運行経費の一部を利用者から

賛成6、反対4で可決

委員会は

ら分担金として徴収する条例をめぐって激しい質疑が続きました。

委員会では、「保護者アンケートで、合併協議に基づいて策定した新制度であり…という文言をつけたのは意図的の問題だ」「今回の条例は、子育て支援に力を注ぎたいという市長の姿勢に逆行するものだ」「保育園統合で現在のところに通園を余儀なくしているというのは受益ではない。負担だ」「アンケートで利用していない人も含めて集計しているのが、これでは正確なニーズ集約とはならない」「保育料と同じく、所得に応じて料金設定できなかったのか。2人目以降は少子化対策として無料にしても良かったのでは」などのべました。

市側は合併協議に基づくものであるなどとのべ、譲りませんでした。採決の結果は賛成6、反対4。共産党議員団の樋口議員や大潟区選出の内山、柳沢両議員などが反対しました。大方の予想を上回る反対が出たのは世論を反映したものです。

『山村集落再生…』の書評が

5日付けの「上越よみうり」に私も執筆した『山村集落再生の可能性』（自治体研究社）の書評が出ました。9日の新潟日報文芸欄の「新潟の一冊」でも紹介される予定です。ぜひ、ご一読を。



本は、春陽館書店などにあり、希望の方は橋爪

県立吉川高校の跡地利用計画が白紙に

県立吉川高校の跡地利用については、既存の施設を利用して新潟工科専門学校が醸造実技実習を行う場として利用することで合意されてきました。しかし、学生を確保できないことなどから計画は白紙になったことが4日の市議会総務常任委員会で報告されました。

地域振興部長の報告によると、専門学校側から本年6月に進出計画の見直し案が提出され、実習期間が当初の通年利用から1か月程度に、生徒数も40人規模から15人規模にするなどの大幅な計画縮小案が示されたといいます。それを受け、市では、「見直し案では酒文化の伝承と醸造を中心とした専門高等教育を官民一体で推進し、吉川区の中心地の活性化を図るという当初の目的を達成することが困難である」「施設と土地を県から取得したうえで無償で新潟工科専門学校に貸与する、必要な施設整備は地域事業費約1億5500万円を投じて行うとした計画の効果は期待できない」との結論に達したといいます。そこで市と専門学校側の双方で協議した結果、10月23日に指定解除確認書を取り交わし、



計画を白紙にしたということでした。

市ではその後、同校の有効活用を検討したものの、新たな利用計画が見いだせないことから、11月15日に、新潟県教育庁に対して、跡地譲渡要望について取り下げ書を提出したそうです。残念なことですが、やむをえません。（左の写真は閉校記念碑。さみしそうです）

総合事務所、地域事業見直し案提示

財政難などを理由とした新市建設計画の地域事業費見直しの必要性を市が訴えています。5日開催された吉川区地域協議会に区総合事務所が見直しの事務局案を提示しました。

それによると、見直し後の地域事業費は19億3300万円で、吉川小学校校舎大規模改修など9事業（事業完了含め）に取り組むとしています。当初計画の掲載されていて今回取りやめになったのは、都市交流拠点整備事業、「森の文化・匠の里づくり事業（吉川高校跡地利用）」、道の駅整備事業などです。

見直し案は吉川区地域協議会（山崎巖会長）を中心に議論されますが、みなさんからも積極的なご意見、ご提案をお願いします。

地域事業見直し案

5日の地域協議会で示された主な事業は以下のとおりです。事業完了したものは掲載しませんでした。

- 一般廃棄物最終処分場適正閉鎖事業（片田地内の閉鎖工事）711万円
- 保育所整備事業（中央保育園の大規模改造、旭保育園の増築、吉川保育園の一部改築助成）1億2500万円。
- 林道整備事業（岩沢米山線全線開通）1100万円。
- 小・中学校校舎改造事業（吉川小学校の大規模改修）2億5056万円。
- 地域ケーブルテレビ施設整備事業（ケーブルテレビの整備と施設の管理運営）5億4755万円。
- 観光施設修繕事業（遊ランドの修繕及びパラグライダーテイクオフ整備）5000万円。
- 道路整備事業（市道26路線の改良）8億2512万円。

市民俳句大会、吉川区からは6人が入賞

今年度の上越市市民俳句大会の表彰式がこのほど行われました。吉川区からは飯川美代さん、長谷川トミオさんなど6人が佳作に入りました。このうち、長谷川さんの「八方を正面とせり立葵」は5人の選者から選ばれました。

今回、市民から応募のあった俳句は全体で3111句にものぼります。吉川区からは27人の方が75句、投句されています。以下は入賞された方々の作品です。いずれもアイウエオ順です。

子等集い米寿の宴や夏座敷

飯川美代さん

賜りし老師の歌集秋うらら

加藤八重さん

八方を正面とせり立葵

長谷川トミオさん

足湯して身のほぐれゆく秋の水

同右

新涼や縁側と言うよき客間

藤田八良さん

ちちろ鳴く独りの家の鍵を挿す

山崎文治郎さん

米山に真向ふ駅の風涼し

同右

長生の帯々直す端居かな

吉村ムメノさん